

01 妊娠生活カレンダー

時 期	前 期												後 期				
週 数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
月 数	2			3			4			5			6				
赤ちゃんとお母さんの変化																	
赤ちゃんの様子	●からだの形ができはじめる	●四肢の区別がつくようになる											●胎盤が完成	●からだが胎脂に覆われはじめる			
お母さんの様子	●基礎体温の高温相が続く(微熱っぽく感じる人も)	●つわりの出現 ●尿の回数が増える ●便秘になりやすい ●乳房が発達、乳首が黒ずむ	●つわりが徐々におさまってくる ●4か月後半 基礎体温が徐々に下がる 低温相が続く	●体重が増えてお腹がふくらみはじめる													
気になる症状	●お腹の痛み・出血・破水・強い頭痛・お腹をぶつけた時・急に胎動がなくなる… 気になる症状がある時には、早めに医師へ相談しましょう															貧血	
妊娠中の心がけ	●毎月1回以上、定期健診を受けましょう ●禁酒・禁煙をしましょう ●薬は医師に相談してから利用しましょう	●産院を選びましょう ●母子健康手帳をもらいましょう														妊娠糖尿病	

妊娠中のポイント



感染症に注意!

風しん・性器ヘルペス
リストリア菌など

運動

お散歩などが効果的。
適度に動きましょう



入浴・清潔

新陳代謝が活発になります。
清潔を心掛けて



休息

頑張りすぎず、
充分休みましょう。
お昼寝も効果的



体の保温を心がけて過ごしましょう!



妊娠中は、胎児・胎盤の発育のため鉄の必要量が増加したり、生理的に水分量が増えるため鉄欠乏性貧血になりやすい

妊娠高血圧症候群 妊娠20週～出産後12週までに高血圧、もしくはそれにたん白尿を伴う場合で他の合併症によらないもの

妊娠中初めて発見・発症した糖尿病に至っていない糖代謝異常

●両親学級などに参加しましょう

●2週に1回以上、定期健診を受けましょう

☆仕事中の人は予定日6週前から産前休業
(多胎の場合は14週前)

●週に1回以上、定期健診を受けましょう

●出産に向けた準備をしましょう

35週頃までには里帰りを!!

医師に相談して乳房の手入れを始めましょう

タバコとお酒はやめましょう!

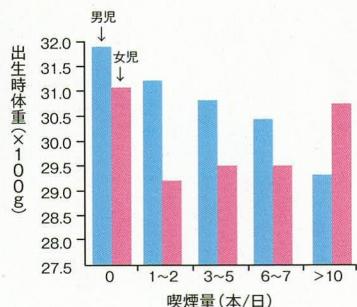
タバコ

タバコに含まれるニコチンや一酸化炭素は、胎盤の血液の流れや働きに影響を及ぼします。胎児の発育を妨げ、低体重や早産の原因になります。また乳幼児突然死症候群(SIDS)と関係することも明らかになっています。副流煙にも注意が必要です。周囲の人も妊娠婦や赤ちゃんの側で喫煙してはいけません。

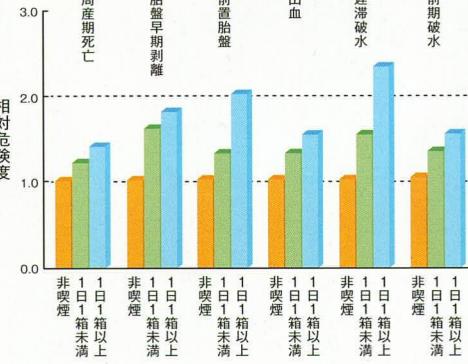
お酒

アルコールは胎盤を通過しやすく、流産や早産、胎児の発育に悪影響を与えます。

母親の喫煙の影響



妊娠中の喫煙と周産期死亡および妊娠合併症



資料:Hopkinson JM, et al:Milk production by mothers of premature infants, influence of cigarette smoking. Pediatrics 90: 934-938, 1992

資料:Meyer MB:Effects of maternal smoking and attitude on birth weight and gestation. In Reed DM, Stanley FJ (ed):The Epidemiology of Prematurity, Urban and Schwartzenberg, Munich, pp81-84, 1977